

## 議員と語ろう会 実施報告書

日時	令和6年11月28日(木) 17:00 ~ 18:00
会場	北潟漁業協同組合事務所(竹田材木店事務所)
団体名(参加人数)	北潟漁業協同組合(6名)
参加議員	北島登(リーダー)、毛利隆雄、島田俊哉

### 【意見交換の内容・所感など】

- ・北潟漁業協同組合の司会進行により、冒頭、北潟漁業協同組合の令和5年からの出来事、北潟漁業協同組合の概要、漁業権とは、遊漁券、洋上風力発電、北潟漁業協同組合の収支状況について説明があり、最後には市や市議会への要望があった。
- ・北潟漁業協同組合は、令和5年2月の役員改選から新体制となり、温暖化による魚種の変化や漁獲の減、組合員の減少と高齢化、物価高騰や燃料費の高騰により厳しい環境となっていることから、水産資源の回復や漁業環境の再生を図ることが重要となっているということであり、コウナゴやシジミが全く捕れないということも、あわら市の水産業の振興にも影響すると感じた。
- ・北潟湖の水質改善のため開田橋の水門の水位の高さの検討をしているという説明があり、閉鎖性水域である湖の水質保全是治水の中でも困難な課題だと再認識した。
- ・ウナギの夜釣りによる乱獲やシーバスのルアーによる竹筒の損傷などが顕著となっていることから、令和7年4月からはウナギの漁獲向上に向けた夜釣りの禁止に取り組むとのことで、資源保護のためには無理もない処置だと感じた。
- ・現在、準備区域の指定を受けている洋上風力発電については、北潟漁業協同組合としては賛成ではない(反対はしない)が協力をするとの方針であるが、有望区域の指定が遅れていることから、県や市がもっと主体性をもって動いて欲しい、併せて北潟漁業協同組合には情報が入ってこないの、行政に入ってくる情報の提供を受けたい旨の要望があったが、市議会としても、情報は入ってこないの、同様な状況であると認識した。
- ・北潟漁業協同組合の収支状況について、現状では赤字となっていることから、市からの補助金30万円と湖面管理協力費50万円については赤字補てんの貴重な財源となっていることから、補助金等の削減には応じられないとのことで、赤字団体にとっては無理もないことだと感じた。
- ・要望事項については、説明を受けるに留めたが、特に漁船の出入り口である吉崎鹿島の森前の水路の水深が浅くなってきており、このままでは漁船の交通に支障が生ずる恐れがあるので、浚渫工事をして欲しいとの要望については、その対応に必要性を認識させられた。

令和6年11月29日

あわら市議会議長 様

作成者 島田俊哉